

平成28年度安芸高田市行政改革推進実施計画

上半期進捗状況一覧表

(平成28年9月末現在)

《重点項目(36項目)抜粋》

企画振興部財政課

《 目 次 》

◆実施計画視点別重点項目一覧表	1 ページ
◆実施計画部局別重点項目上半期進捗状況一覧表	8 ページ

【平成28年度行政改革推進実施計画視点別重点項目一覧表】

視点1 協働による行政経営の推進

(1) 市民協働の推進

① 市民と行政の適切な役割分担の明確化

No	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
1	11101	◆	地域防災活動の有効かつ効果的な活動の推進・充実・強化	「自助・共助・公助」の役割を明確にし、住民が主体となる地域防災活動を推進(定着)する。	・地域防災に対する認識の向上 ・地域防災活動の充実、強化 ・防災リーダーの育成 ・防災知識の向上	継 続	→	→	→	→	総務部 危機管理課
2	11103	◆	資源リサイクル・分別の推進	市民の協力のもとに、ごみの分別を増やして、再生可能な資源を回収し、資源化を進める。	・芸北広域環境施設組合への負担金の減少 ・リサイクルによる環境保全意識の向上と地域コミュニティの活性化	継 続	→	→	→	→	市民部 環境生活課
3	11106	◆	健康づくり活動の推進	自分の健康は自分で守るという意識のもとで、積極的に健康づくりに取り組む。健康づくりに関する意識啓発に努める。	・健康寿命の延伸 ・医療費の抑制 ・市民と行政の役割分担	継 続	→	→	→	→	福祉保健部 保健医療課

(2) 民間活力の活用

① 民間委託の推進とサービスの向上

4	12101	◆	税業務の民間委託の可能性について調査・研究	証明書発行について、民間委託の可能性について調査研究する。また納税通知書の作成事務についてアウトソーシングへ移行する。	・サービスの向上 ・人件費削減	調 査	検 討	試 行	→	実 施	市民部 税務課
5	12102	◆	生涯学習事務事業の民間委託推進	事務事業を見直し、民間委託が可能な事務について費用対効果を検証し、民間委託を推進する。	・行政コストの削減 ・事務事業整理 ・民間委託の推進	継 続	→	→	→	→	教育委員会 生涯学習課

(3) 情報の共有化と公正の確保

① 積極的な情報公開と説明責任の徹底

No	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
6	13101	◆	積極的かつ迅速な情報提供	行政情報について、ホームページ、広報紙、お太助フォン等を活用し、積極的かつ迅速に提供する。	・情報公開の推進 ・説明責任の徹底	継続	→	→	→	→	企画振興部 政策企画課

視点2 安定した財政基盤の確立

(1) 事務事業の見直し

② 事務事業コストの削減

7	21201	◆	下水道事業の経営の見直し	市内の下水道施設を補助事業により計画的に改築・更新し、施設の長寿命化を図る。	・計画的な長寿命化による維持管理コストの縮減	継続	→	→	→	→	建設部 上下水道課
---	-------	---	--------------	--	------------------------	----	---	---	---	---	--------------

(2) 財政の健全化

① 財務諸表の活用

8	22101	◆	財政健全化計画の見直し	普通交付税の合併特例加算が終了する平成31年度までの間は、特に国の動向に関する情報を的確に収集し、財政推計を行う。当該推計をベースに財政健全化計画の見直しを行う。	・財政運営の健全化	継続	→	→	→	→	企画振興部 財政課
---	-------	---	-------------	---	-----------	----	---	---	---	---	--------------

② 歳入の確保・歳出の抑制

9	22201	◆	補助金整理合理化プランに基づく市単独補助金の適正化	第2次補助金整理合理化プランに基づき、補助金の必要性、公平性、透明性を検証し、市単独補助金の更なる適正化を図る。	・財政運営の健全化	継続	→	→	→	→	企画振興部 財政課
10	22205	◆	市税等の収納率の向上	新たな滞納整理手法の習得および技術の継承をし、職員の能力を高める。財産調査、捜索等により強制執行を積極的に進め、差押物件を公売により換価し、収納率の向上を図る。	・滞納整理手法の習得 ・収納率の向上	継続	→	→	→	→	市民部 税務課

③ 使用料・手数料の適正化

No	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
11	22301	◆	公共施設使用料の適正化	施設のコスト、利用状況を的確に把握し、減免措置の統一化を行い、施設利用者に適正な受益者負担を求める。	・財政運営の健全化	検 討	→	実 施			企画振興部 財政課
12	22302	◆	簸の川かんぱいの受益者負担の整理及び確立	簸の川かんぱい等八千代町内農業用揚水機の電気料を負担してもらう。 八千代町内関係者の受益者負担の合意形成を図る。 受益地・受益者の把握及び電気料の徴収を行う。	・電気料の受益者負担について、3年間で段階的に徴収	検 討	策 定	→	→	実 施	産業振興部 農林水産課
13	22303	◆	下水道使用料等の見直し	財政推計を行い、下水道事業運営上の適正な料金水準を基に、計画的な料金改定を検討する。	・経営の健全化	継 続	→	→	→	→	建設部 上下水道課
14	22304	◆	水道料金等の見直し	財政推計を行い、水道事業運営上の適正な料金水準を基に、計画的な料金改定を検討する。	・経営の健全化	継 続	→	→	→	→	建設部 上下水道課 (公営企業部水道課)

(3) 公益法人等の見直し

① 公営企業・三セクの経営健全化

15	23102	◆	第3セクターの健全化	公共施設等総合管理計画基本方針に伴い最少の経費で最大の効果を生むような観点から湯の森、湯治村、サイクリングターミナルの各施設管理者と、集客方法や今後の経営形態等を協議・指導し、健全な施設運営を検討する。	・財政運営の健全化 ・市民サービスの向上 ・透明性の向上	継 続	→	→	→	→	産業振興部 商工観光課
16	23103	◆	簡易水道事業等の水道事業への統合(地方公営企業法適用化への準備事業)	簡易水道事業、飲料水供給事業を水道事業へ統合するための準備を行う。 施設台帳、資産台帳の作成等を行う。	・事業統合による管理及び経営の一体化	継 続	実 施				建設部 上下水道課 (公営企業部水道課)

(4) 施設の適正配置

① 施設の存続・統合・廃止・民営化等公的関与の見直し

No	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
17	24101	◆	支所庁舎の周辺公共施設への移転等検討	公共施設管理基本方針に基づく支所庁舎の移転等を検討する。	・経費の節減	継続	→	→	→	→	総務部 財産管理課
18	24102	◆	準基幹集会所の地元移管	人権多文化共生推進課の管理している集会所の管理形態を見直し、可能な施設については、地元の理解のうえに移管等を促進する。	・地元の資産としての有効活用を促進	継続	→	→	→	→	市民部 人権多文化共生推進課
19	24103	◆	老人福祉施設の廃止	安芸高田市高宮高齢者生産活動センターの老朽化に伴い、廃止に向けた協議を継続する。	・行政コストの削減	継続	→	実施			福祉保健部 高齢者福祉課
20	24104	◆	水産業・林業振興施設の施設譲渡、廃止	水産業振興施設である2施設【高宮淡水魚養殖施設】【八千代養魚池等釣堀】と林業振興施設【エコヴィレッジ川根】の稼働状況を確認し、指定管理料の段階的な減額、施設譲渡、廃止を検討する。	・行政コストの削減	検討	→	実施			産業振興部 農林水産課
21	24105	◆	農機具及び共同作業場・農機具格納庫等施設の地元への譲渡、廃止	地域改善対策事業等で整備した農機具、設備等や共同作業場、農機具格納庫等の施設について、地元利用組合等への譲渡又は廃止を行う。	・施設等の有効活用 ・行政コストの削減	検討	実施	→	→	→	産業振興部 地域営農課
22	24106	◆	農業関係施設の存続・統合・廃止・民営化	虹の農場関連施設、レインボーファーム・ミルクプラント、塩貝家畜集合施設、桑田の庄、青空市湯の森店、川根ゆず加工施設、向原農村交流館やすらぎ、吉田町ふるさと産品加工所、四季の里農園の公的関与について見直しを行う。	・施設等の有効活用 ・行政コストの削減	検討	実施	→	→	→	産業振興部 地域営農課
23	24107	◆	林業振興施設の廃止	林業振興施設である、ほととぎす遊園バンガロー・琵琶が池キャンプ場の廃止を行う。	・行政コストの削減	調査	検討	→	実施		産業振興部 商工観光課
24	24109	◆	生涯学習施設の適正配置の促進	公共施設の適正配置計画に基づき、社会教育施設、社会体育施設の統合を促進する。	・行政コストの削減 ・管理施設の削減	継続	→	→	→	→	教育委員会 生涯学習課

② 幼稚園、保育所及び小学校の統廃合を含めた適正配置

No	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
25	24201	◆	公立保育所の適正配置と幼保一元化	安芸高田市保育所規模適正化推進計画(平成23～32年度)に基づき、園舎の老朽化が進んだ公立保育所から、統廃合・施設の建て替えと同時に民間活力の導入を図る。・甲立保育所、小田東保育所、小原保育所 ・吉田保育所	・施設建設費、人件費、施設運営費の削減 ・多様化する保育ニーズに対応した保育サービスの提供	継続	→	→	→	→	福祉保健部 子育て支援課
26	24202	◆	子ども・子育て支援新制度の円滑化	子育て支援課と連携し、「子ども・子育て支援新制度」に基づく幼稚園の認定手続きや保育料の改正等円滑化を図る。	・子育て支援の量の拡充と質の向上	継続	→	→	→	→	教育委員会 教育総務課
27	24203	◆	学校規模適正化の推進	人間関係の固定化を避け、より多様なかわりの中で切磋琢磨し柔軟な人間性や社会性をはぐくめる環境を整えることを目的に、小学校の適正配置を推進する。	・よりよい教育環境の整備	継続	→	→	→	→	教育委員会 教育総務課

(5) 施設の有効活用と財産の売却等

① 既存施設の有効活用と未利用財産の積極的な売却

28	25103	◆	未利用財産の処分	教育財産のうち、未利用となっている土地や建物について、有効活用の有無を検討したうえ活用の見込みのないものは積極的に処分する。	・既存施設の有効活用 ・行政コストの削減	調査	検討	→	→	→	教育委員会 教育総務課
----	-------	---	----------	--	-------------------------	----	----	---	---	---	----------------

② 施設の管理運営形態の見直し

29	25201	◆	保健福祉施設の管理運営形態の見直し	ふれあいセンターこうだの管理運営形態(指定管理)の見直しを検討する。	・維持管理経費の縮減 ・効率的な施設運営管理	継続	→	実施			福祉保健部 保健医療課
----	-------	---	-------------------	------------------------------------	---------------------------	----	---	----	--	--	----------------

視点3 効率的な行政経営

(1) 組織体制の整備

① 多様なニーズに柔軟に対応できる組織・機構の整備

No	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
30	31103	◆	観光推進体制の確立	観光振興ビジョン及び実施計画を27年度に作成し、28年度から31年度まで実施計画の進捗管理を行う。	・入込観光客の増による経済の活性化	策定	実施	→	→	→	産業振興部 商工観光課

(2) 定員管理、給与の適正化等

① 行財政環境の変化に対応した定員の適正化

31	32101	◆	計画的な定員管理計画の推進	平成25年度から平成34年度までの10年間で計画期間とする第3次職員定員適正化計画に基づき、計画的に定員管理を進める。	・平成34年4月1日時点で職員数310人	継続	→	→	→	→	総務部 総務課
----	-------	---	---------------	---	----------------------	----	---	---	---	---	------------

③ 給与等の適正化

32	32303	◆	時間外勤務の縮減と適正管理	職員のワーク・ライフ・バランスの推進や健康保持増進を図るため、時差出勤、ノー残業デー、週休日の振替等の徹底による時間外勤務縮減に向けた取り組みを推進する。	・人件費の縮減	継続	→	→	→	→	総務部 総務課
----	-------	---	---------------	---	---------	----	---	---	---	---	------------

(3) 人材育成

② 人事評価システムの定着

33	33201	◆	人事評価システムの構築	人事評価制度に対する客観性、納得性を高めるため、職員に分かりやすい制度を構築するとともに、人事評価の結果を任用、昇格昇給、勤勉手当等の処遇に反映させるシステムを構築する。	・組織マネジメントの向上 ・職員の能力開発・人材育成	試行	実施	継続	→	→	総務部 総務課
34	33202	◆	消防職に係る人事評価システムの定着	消防職独自である災害対応能力を「能力評価」に盛り込み「業績評価」とともに人材育成・能力開発を目的に人事評価システム定着させる。	・組織マネジメントの向上 ・職員の能力開発・人材育成	試行	実施	継続	→	→	消防本部 消防総務課

(4) 高度情報通信技術の活用

① 電子自治体の構築・電算システムの最適化

No	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	改善概要	目標効果	目標実施年度					所掌部課名
						27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
35	34101	◆	電算システムの最適化	庁内全体の電算システムをセキュリティ対策を考慮し、無駄のない低コスト構造に変える。 パッケージシステムの活用 マイナンバー制度導入に伴い、よりセキュリティの高いシステムの構築を行う。	・電算システムライフサイクルコストの削減 ・情報漏えい及び外部からの侵入(コンピュータウイルス、スパムメール、不正アクセス)の防止	実 施	→	継 続	→	→	総務部 総務課
36	34102	◆	電子自治体の推進	情報通信技術を行政のあらゆる分野に活用することにより、住民の負担の軽減や利便性の向上、行政事務の簡素化・合理化などを図り、効率的・効果的な自治体の実現を図る。	・市民サービスの向上	継 続	→	→	→	→	企画振興部 政策企画課

【平成28年度行政改革推進実施計画部局別重点項目進捗状況一覧表】

総務部

所掌部名	所掌課名	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
総務部	総務課	32101	◆	計画的な定員管理計画の推進	船津 晃一	<ul style="list-style-type: none"> 第3次職員適正化計画に基づく職員数管理 再任用職員及び勲奨退職者数の人数を把握した上で、職員採用試験の実施 時間外削減に向けた取り組みの徹底 支所の職員配置について検討する 	<ul style="list-style-type: none"> 適正化計画に基づき、再任用職員希望者等を把握し、職員採用試験(1次試験9/18、2次試験10/28予定)を実施した。 時間外増については、振替の徹底の通知した。 	<ul style="list-style-type: none"> 支所等の適正な職員配置を検討するため、先進地(呉市)を視察予定。 組織体制ヒアを行い、新年度に向けて業務や時間外の状況を整理する。
		32303	◆	時間外勤務の縮減と適正管理	船津 晃一	<ul style="list-style-type: none"> 職員の意識改革の促進 管理職の適正な執行管理 ノー残業デー、週休日の振替及び時差出勤の徹底 時間外勤務命令申請の事前決済の徹底を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 時間外の振替の徹底の通知した。 	<ul style="list-style-type: none"> 組織体制ヒアを行い、新年度に向けて業務や時間外の状況を整理する。 時間外が年々増加傾向にあり、時間外の目標設定や管理の方法が課題。
		33201	◆	人事評価システムの構築	船津 晃一	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の本格導入 評価者及び被評価者研修の実施 評価結果の検証 評価結果のフィードバック マニュアル等の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 全職員を対象に人事評価制度を本格導入し、面談を通じて目標項目・達成目標を設定した。 H28年度からシステム導入したことに伴い、マニュアル等を見直した。 評価結果のフィードバックに向け、研修等に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 面談を通じて人事評価を実施する。 評価結果を給与等へ、どのように反映させていくかが課題。
		34101	◆	電算システムの最適化	竹本 伸治	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請システム利用業務の拡大 公会計システム導入に伴う内部情報系システム改修 基幹系システム本稼働 マイナンバー制度関係システム連携テスト実施 セキュリティ内部監査実施 セキュリティ関係規定見直し コンビニ収納関係システム導入 戸籍システム更新検討 ネットワーク強靱化に伴うネットワーク構成見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 公会計システム導入に伴う内部情報系システム改修に伴う協議を行った。 マイナンバー制度関係システム連携テスト実施を行った。 セキュリティ内部監査実施に先立ち全職員を対象にセキュリティ研修を実施した。 コンビニ収納関係システム導入実施中 戸籍システム更新検討に伴いRFIを実施した。 ネットワーク強靱化に伴うネットワーク構成見直しを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 電子申請システム利用業務の拡大検討する。 公会計システム導入に伴う内部情報系システム改修する。 マイナンバー制度関係システム連携テストを実施する。 セキュリティ内部監査を実施する。 コンビニ収納関係システム導入する。 戸籍システム更新検討を行う。 ネットワーク強靱化に伴うネットワーク構成見直しを行い構築する。
	危機管理課	11101	◆	地域防災活動の有効かつ効果的な活動の推進・充実・強化	神田 正広	<ul style="list-style-type: none"> 住民が主体となる地域防災活動を推進(定着)する。 未組織地域への組織化推進 自主防災活動に対する育成支援 関係機関における自主防災活動の連携 防災・減災に対する意識の普及啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織などの団体の訓練、研修等に職員派遣または補助金による支援を行った。 <ul style="list-style-type: none"> ○訓練件数 22件 内、補助金申請 13件 補助金額 174,713円 (内20,000円は未精算) ○職員派遣(危機管理課) 7件 ○ " (消防署) 11件 自主防災組織代表者の連絡先を照会し、更新した。 国際交流協会、社会福祉協議会と災害時多言語支援センター設置等に関する協定を結んだ。 市内の病院、歯科医院へハザードマップを配布し、待合室等での掲示を依頼した。 備蓄食料を理解してもらうため、市内学校へ賞味期限が迫った乾パンの配布を行った。 県防災アドバイザーの派遣を斡旋し、吉田小PTCにて防災教室を行った。 豪雨時および台風接近時に早めに自主避難場所を開設し、市民に自主避難を呼びかけた。(9月2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 吉田地区振興会において防災講演会を行い、自主防災組織未結成地域への組織結成を促す。 引き続き自主防災組織等が実施する訓練、研修への職員派遣、補助を行う。 災害時多言語支援センター設置等に関する協定に基づき、外国人を対象とした防災訓練を実施する。 引き続き早めの自主避難場所の開設及び自主避難の呼びかけに取り組む。

所掌部名	所掌課名	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
	財産管理課	24101	◆	支所庁舎の周辺公共施設への移転等検討	寄実 拓也	・八千代支所機能移転検討	<ul style="list-style-type: none"> ・既存八千代保健センター跡地へ支所庁舎を新築した場合と既存八千代保健センターを耐震補強及び改修を行い支所庁舎とする場合の概算事業費を各々算出し比較検討を実施。 ・支所庁舎を新築する場合のリース方式による整備について情報収集を実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震性を有した新八千代支所に必要な規模の算出を行う必要がある。 ・現八千代支所周辺の既存の公共施設の内、耐震性を有した建物への移転の可能性を検討する。

企画振興部

所掌部名	所掌課名	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
企画振興部	財政課	22101	◆	財政健全化計画の見直し	高下 正晴	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画及び前年度決算数値により財政推計の作成 ・実施計画(H28～H32)の事業内容、事業費等の調整 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画のヒアリングを実施し、実施予定事業の把握を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実施計画のヒアリングをもとに財政推計を行い、財政健全化計画の策定の基礎資料とする。 ・財政健全化のためにクリアすべきステップを明示した財政健全化計画を作成する。
		22201	◆	補助金整理合理化プランに基づく市単独補助金の適正化	津賀山 泰佑	<ul style="list-style-type: none"> ・平成25年度に各部署で設定したアクションプランの計画通り削減が進んでいるかを検証する。 ・予算編成時に検証する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・補助金の必要性及び公平性・透明性を検証するため、団体に対する補助金の用途について調査を行った。(補助金交付団体別に H27年度 収支決算 及び H28年度 収支予算を調査) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次補助金整理合理化プランで掲げる15%削減目標の達成に向け、団体の決算状況等、調査内容の精査を行う。 ・新年度予算要求時に、原課が作成する単独補助金年度別計画書を確認し、目標達成(H31までに15%の削減)に向けた取組状況を把握する。
		22301	◆	公共施設使用料の適正化	高下 正晴	<ul style="list-style-type: none"> ・関係先と調整し、市民に公表する。 ・関係先等への説明を行う。 ・運用ルールの検討を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設の維持管理経費の実績と利用率の実績を基に、あるべき使用料の考え方を作成した。 ・受益者負担の不公平を是正するため、減免規定の案を作成し、内部調整を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設使用の受益者負担の適正化を進める必要性を示す資料を作成し、上下水道の使用の受益者負担の適正化と併せて、市民に説明する。 ・受益者負担の基本的な考え方を市民に示す。
政策企画課		13101	◆	積極的かつ迅速な情報提供	久光 正士	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の重要性についての職員研修を行なう。 ・ホームページの担当者の研修会を開催し、情報更新作業の効率化と更新頻度を高める。 ・ホームページの情報分類の整理を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページのページ編集に係る各部署係単位での利用IDを付与した。 ・ページ編集に係る技術的な支援として、ヘルプサポートデスクを設置した。 ・ホームページ管理を専門業者に委託し適正化を行うとともに、適宜サイト内を点検し、必要に応じて修正作業を担当へ指示した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・継続してホームページの点検を行う。
		34102	◆	電子自治体の推進	久光 正士	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドを活用した自治体サービスの調査研究。 ・情報リテラシーの向上に向けた人材育成、啓発。 ・お太助フォン等を活用したサービスの構築。 ・マイナンバーを活用し、住民サービス等の向上及び行政事務の効率化を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成27年度公衆無線LANアクセスポイント(AP)を6箇所整備し、今年度は広島広域都市圏で進めている「Hiroshima Free Wi-Fi」により3箇所程度APの整備に向け、活用計画を策定中。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活用計画策定後、無線LANの整備を行う。

市民部

所掌部名	所掌課名	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
市民部	税務課	12101	◆	税業務の民間委託の可能性について調査・研究	末島 浩司	・納付書等の民間委託においては、費用対効果やスケジュールなど具体的に検討し、委託に向けた検討を行う。	・時間外勤務削減を目指し、納税通知者等の印刷・封入封緘を一括して民間事業者への委託可能性・課題について、(株)ケイズや関係事業者と協議中である。	・納付書の印刷から封入・封緘まで事業者へ委託可能業務と必要経費の検証。 ・職員の適正化が進む中でも、業務を維持できるような体制に向けた委託業務の検証。
		22205	◆	市税等の収納率向上	益原 秀文	・前年度を上回る目標収納率及び収納額の実績	・7月14日に土地の公売会を開催した。(申込者なし)インターネット公売による美術品や自動車1台を換価し滞納額に充てることができた。(9月末 10件: 1,552,300円)	・現年度分の徴収を重点化(早期徴収) ・大口滞納者の徴収対策(滞納処分の実施) ・課として滞納者を増やさない取組み(市県民税係・固定資産税係の協力体制)
	環境生活課	11103	◆	資源リサイクル・分別の推進	森川 哲也	・追加品目の検討 ・広報紙・HPで資源回収の助成の周知 ・資源回収による環境負荷軽減効果の広報	① 市ホームページへ資源回収参加団体募集の記事をアップしました。 資源回収量(9/30申請分) 336.08t(800tに対し進捗率42.0%)古紙285.46t、布類4.07t、アルミ缶21.07t、スチール缶9.10t、ペットボトル16.39t、廃食油660.0ℓ、回収団体数148団体。 ② 生ごみ処理機22台、コンポスト20基を普及した。また、「竹チップde生ごみコンポスト」を28世帯にて実施した。 ③ モデル地区の甲田町にて、分別項目を現在の18品目⇒21品目に増やすため実証中。	① 資源回収を新規で始めたい、検討をしたいと考える地域へは、希望があれば出前講座を行い、加入の促進を図る。また、未加入の地域に対してはこちらから積極的に声をかけをする必要があると思われる。 ② 生ごみ処理器購入補助金は予算額に達したため終了したが、その後も市民からの問い合わせが数件あることから来年度の予算額をどうするか検討をする。 ③ モデル地区(甲田町)にて分別項目を21品目の回収を実施し、芸北広域きれいセンターへの搬入量の削減に努める。課題としては目標24分別の項目の中に他の団体と競合する品目があり、そこをどうするか検討の必要あり。
	人権多文化共生推進課	24102	◆	準基幹集会所の地元移管	倉田 英治	地元及び運動団体との協議 ・集会所の廃止又は地元移管 ・それによって経常経費の節減	地元及び運動団体との協議 ・春日中央集会所について、廃止について協議した。その結果、運動団体との協議が整い廃止、取り壊すことに同意を得た。 ・その他の集会所については、協議が出来ていない。	地元及び運動団体との協議 ・春日中央集会所の廃止の事務を進める。当面、経常経費についての廃止手続き、また、県への廃止の報告並びに手続きを行う。条件が整えば、補正により廃止、取り壊しを今年度内に行う。 ・その他の集会所については、継続して協議を続ける。

福祉保健部

所掌部名	所掌課名	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題	
福祉保健部	子育て支援課	24201	◆	公立保育所の適正配置と幼保一元化	久城 祐二	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画を策定し、議会・保護者・地域住民に説明を実施し理解と協力を得る。 建設用地を市で取得する。 国の補助制度について国・県と協議を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> (仮称)甲田認定こども園について、6月に市議会文教厚生常任委員会、7月に甲田町3保育所の保護者会で整備計画について説明を行った。 8月に甲田町民生委員協議会へ小学校統合・保育所統合について説明を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年3月までに、建設予定地の取得を行うとともに、設立運営法人の募集準備を行う。 	
	高齢者福祉課	24103	◆	老人福祉施設の廃止	和田 篤志	<ul style="list-style-type: none"> 施設廃止に向け各グループとの最終調整。 	<ul style="list-style-type: none"> 指定管理者及び神楽面グループと移転先及びグループの清算について協議を行った。 生産者グループ保有の剰余金の処分方法について弁護士と協議し、処分方針を決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> 弁護士の助言に基づき、各生産者団体の清算と、剰余金を活用した移転先整備を推進する。 	
	保健医療課		11106	◆	健康づくり活動の推進	竹本 智子	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病重症化予防事業 新規対象者への個別支援プログラムの実施 新規対象者50名予定 個別支援プログラム修了者へのフォロー事業の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病重症化予防事業 新規対象者への個別支援プログラム開始28名 個別支援プログラム修了者へフォロー事業開始(電話支援、料理教室等) 	<ul style="list-style-type: none"> 生活習慣病重症化予防事業 新規対象者個別支援プログラムの継続及び修了。 個別支援プログラム修了者へフォローの継続支援。
			25201	◆	保健福祉施設の管理運営形態の見直し	近末 訓	<ul style="list-style-type: none"> 保健センター(中央)指定管理者再指定(5年) ふれあいセンターこうだ無償譲渡等について指定管理者と協議を行う。 大規模修繕(2年目) 	<ul style="list-style-type: none"> 保健センター 指定管理者と5年間(H28～H32)の基本協定を締結した。 ふれあいセンターこうだ 無償譲渡時期や施設整備について指定管理者と協議した。 無償譲渡後の施設の利活用についても協議した。 	<ul style="list-style-type: none"> ふれあいセンターこうだ 市として無償譲渡時期を平成30年3月で提案しているが、指定管理者は地元住民への説明や施設の利活用について検討したいので譲渡時期の延期を希望している。 施設修繕について整理する必要がある。 駐車場の譲渡後の整理が課題となる。

産業振興部

所掌部名	所掌課名	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
産業振興部	地域営農課	24105	◆	農機具及び共同作業場・農機具格納庫等施設の地元への譲渡、廃止	三戸 法生	・施設の利用状況等現況調査を行い、調査に基づいた施設譲渡、処分(解体を含む)仕分けを行う。	・一部施設の確認を行った。	・団体と連携して施設の状況を整理する。
		24106	◆	農業関係施設の存続・統合・廃止・民営化	松川 雅弘	・廃止 虹の農場関連施設(削減額:0千円) レインボーファームミルクプラント(削減額:0千円) ・譲渡検討 桑田の庄(削減額:760千円) 川根ゆず加工施設(削減額:1,000千円) ・管理費削減検討 四季の里農園、向原農村交流館やすらぎ ・廃止検討 青空市場の森店、吉田町ふるさと産品加工所、尾原・向原ふれあい農園、塩貝家畜集合施設	・虹の農場関連施設無償譲渡に向け条例の廃止及び譲渡について議会承認を受けた。 ・桑田の庄譲渡について課内協議を行った。 ・県と川根ゆず加工施設無償譲渡協議を行った。 ・四季の里農園の観光事業廃止を含めた管理運営方法の検討を始めた。 ・尾原・向原ふれあい農園の管理を行った。ふれあい農園の芸備線活用による利用促進の検討を始めた。	・虹の農場無償譲渡契約の締結を行う。 ・桑田の庄管理者へ譲渡を正式に打診する。 ・県との川根ゆず無償譲渡協議を継続する。 ・四季の里管理運営方法について関係機関協議を行う。 ・尾原・向原ふれあい農園を活用した芸備線利用促進の検討を行う。
	農林水産課	22302	◆	簸の川かんぱいの受益者負担の整理及び確立	逸見 寿教	・議会協議報告→受益者に通知→説明会の開催	・説明会資料作成中。	・12月に議会に説明を行い、受益者へ通知し、説明会を開催する。
		24104	◆	水産業・林業振興施設の施設譲渡、廃止	益原 辰弥	・譲渡の場合は、現状で譲渡を行う協議をする。 ・廃止の場合は、廃止手続きをする。	・高宮淡水魚養殖施設、八千代養魚池等釣堀 両施設の代表者と協議を行った。八千代養魚池等釣堀については指定管理料の段階的な減額ができないか代表者から提案があった。	・引き続き代表者と協議を行う。
	商工観光課	23102	◆	第3セクターの健全化	松田 祐生	・公共施設等総合管理管理計画個別計画に基づき、管理者との協議を行い中・長期的にあり方を検討する。 ・第2次安芸高田市観光振興計画に基づき事業実施し、入込観光客の増加を図る。	・各施設管理団体へのヒアリングの実施、さらに平日の稼働向上にための試案等の協議を行う。 ・また、施設改修等、今後大規模リニューアルが予想され、中・長期的な改修計画の提示を求める。	・継続的に管理団体と協議を実施する。
			24107	◆	林業振興施設の廃止	松田 祐生	・公共施設等総合管理管理計画個別計画に基づき、地元・管理者との協議を行うとともに、譲渡・廃止について、検討を行う。	・八千代憩いの森について管理者と協議を行い、市の個別管理計画の説明と理解を求めた。
31103		◆	観光推進体制の確立	松田 祐生	・第2次観光振興計画に基づき、事業実施。	・第2次観光振興計画に基づき、庁舎内担当者会議を実施した。 ・とくに周遊性の向上を目指す仕組みづくり「田園アート」実施に向け、協議・視察を実施。	・次年度以降、田園アートの実施に向け、さらに協議検討を行う。	

建設部

所掌部名	所掌課名	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
建設部	上下水道課	21201	◆	下水道事業の経営の見直し	玉井 郁生	・向原浄化センター 「長寿命化実施設計」	・4月25日 補助申請 6月1日交付決定。 ・7月15日 日本下水道事業団と実施設計の作成委託に関する協定締結。 ・9月27日 日本水工設計(株)と設計委託。	・実施設計の完成と執行準備を行う。 ・課題として、事業費の抑制と平準化に向け、狭小敷地内での仮設工事内容や設備配置について検討が必要。
		22303	◆	下水道使用料等の見直し	聖川 学	・使用料体系の課題や改善点、適切な使用料水準を分析する。 ・受益者に使用料改正の理解を求める啓発を行う。	・料金改定支援業務を平成28年8月に業者委託し、料金改定案を検討するための、諸条件(需要予測・社会情勢)等の設定を行い処理原価の算定や料金体系の検討を行っています。	・議会・住民等を交えた検討委員会の設置方法の検討。 ・料金改定に向けた受益者への啓発。
		22304	◆	水道料金等の見直し	聖川 学	・料金体系の課題や改善点、適切な料金水準を分析する。 ・受益者に料金改正の理解を求める啓発を行う。	・料金改定支援業務を平成28年8月に業者委託し、料金改定案を検討するための、諸条件(需要予測・社会情勢)等の設定を行い処理原価の算定や料金体系の検討を行っています。	・議会・住民等を交えた検討委員会の設置方法の検討。 ・料金改定に向けた受益者への啓発。
	上下水道課(公営企業部水道課)	23103	◆	簡易水道事業等の水道事業への統合(地方公営企業法適用化への準備事業)	廣田 聖二	・地方公営企業会計システムの構築、変更認可申請、例規の整備、事務引継ぎ、総務大臣への適用状況報告等を行うとともに、打ち切り決算の実施と開始貸借対照表を作成し、平成29年3月末をもって簡易水道を水道事業へ統合する。	・7月12日 執行伺い ・7月27日 株式会社NJS広島事務所と委託契約を締結	・12月の工事完成から資産をシステムに移行し、打ち切り決算資料を作成する。 ・課題として、今回取込みする飲供施設を含め変更認可の県協議に時間を有する。

消防本部

所掌部名	所掌課名	分類 番号	重点 区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
消防本部	消防総務課	33202	◆	消防職に係る人事 評価システムの定着	小笠原 晃之	<ul style="list-style-type: none"> 人事評価制度の本格導入 評価者及び被評価者研修の受講 評価結果の検証 評価結果のフィードバック マニュアル等の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 総務部長通知に基づき正規職員に通知 今年度からシステム入力となり被評価者入力後、評価者と期首面談実施し調整者確認済み。 安芸高田市人事評価制度マニュアルに基づき実施するため、見直しはしない。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価者及び被評価者研修の受講 評価結果の検証 評価結果のフィードバック システムの改良等の精査

教育委員会

所掌部名	所掌課名	分類番号	重点区分	実施(改革)項目	担当者	平成28年度実施計画内容	平成28年度上半期取組状況	平成28年度下半期取組内容と課題
教育委員会 事務局	教育総務課	24202	◆	子ども・子育て支援新制度の円滑化	下中 裕子	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保育料 所得階層ごとに 0円～12,300円を徴収 ・多子世帯への負担軽減 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保育料 H27年度から幼稚園保育料を改定し、H28年度は、段階的引き上げを実施している。保護者へも定着し、上半期分に未納はない。 ・多子世帯への負担軽減 第3子以降の保育料無料化は、H27年度から実施しており、H28年度は更に公立幼稚園において第2子保育料の半額を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園保育料 段階的引き上げが終了するH29年度にむけて、引き続き保護者の理解が得られるよう周知する。 ・多子世帯への負担軽減 私立幼稚園については、補助金要綱を改正し、第2子保育料の軽減を受けられるよう進める。
		24203	◆	学校規模適正化の推進	柳川 知昭	<ul style="list-style-type: none"> ・「可愛・郷野地区」の基本協定書の締結 ・「高宮地区」の統合準備委員会の設置 ・統合校となる「八千代小」 ・「甲田小」の施設整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・「可愛・郷野地区」の基本協定書を締結した。 ・統合校となる根野小学校と甲立小学校の施設整備について、改修設計業務等を発注した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・統合校に相応しいスタートとなるよう施設整備を進めること。 ・公共交通体系の見直しと合わせて、スクールバス運行の具体を検討すること。 ・統合に合わせて、遠距離通学助成制度の統一を図ること。
		25103	◆	未利用財産の処分	西本 龍	<ul style="list-style-type: none"> ・洗い出したリストから有効活用の有無を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・公共施設等総合管理計画の個別計画を策定し、施設別に有効活用の有無を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・旧高宮給食調理場について、地域の農産物加工施設として活用されていることから、産業振興部に所管を移す準備に入る。
	生涯学習課	12102	◆	生涯学習事務事業の民間委託推進	松野 博志	<ul style="list-style-type: none"> ・事務事業を総点検し、民間活力を活用できる事業を選定するとともに、費用対効果を検証し、民間活用を推進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・業務の総点検を行い、費用対効果が見込まれる、民間委託可能な業務の有無について検討を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・次年度に向けて、引き続き検討を行う。
		24109	◆	生涯学習施設の適正配置の促進	松野 博志	<ul style="list-style-type: none"> ・財産管理課・財政課と連携を図り、計画に基づき、公共施設の統廃合を進める。上記対象外となっている、グラウンド施設等について、利用状況及び管理コストの実態を踏まえ、統廃合を進める。また、地区集会所(吉田町、甲田町)の地元譲渡を含む廃止を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年自然の家廃止後の希望等について吉田振興会に意見聴取を申し入れているが、振興会行事等多々あり、未だに意見聴取に至っていない。3件、閉鎖後の利活用について相談あり。 	<ul style="list-style-type: none"> ・少年自然の家は、引き続き地元協議を要請。併せて、国史跡範囲内であることから、転用の可否等について関係機関からの情報収集に努める。